



第 90 号(平成 29 年 10 月 4 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 29 年中の山岳遭難発生状況(平成 29 年 1 月 1 日～9 月 24 日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 29 年	239	48	3	129	86	266	23
平成 28 年	221	33	3	122	88	246	7
前年同期比	18	15	0	7	-2	20	16
内)BC	22	1	1	9	16	27	10

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	47	19.7%	14	1	25	49
	後立山	54	22.6%	8	1	31	58
	その他	32	13.4%	4	1	21	34
計	133	55.6%	26	3	77	141	
中央アルプス	17	7.1%	4		9	17	
南アルプス	15	6.3%	5		7	15	
八ヶ岳連峰	23	9.6%	5		16	30	
その他の山岳	51	21.3%	8		20	63	
計	239		48	3	129	266	

態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	71	29.7%	22		54		76
転倒	63	26.4%			63		63
病気	21	8.8%	10			11	21
道迷い	42	17.6%				64	64
落石	7	2.9%	1		6		7
雪崩	5	2.1%	4		2		6
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	12	5.0%	3			8	11
不明・他	18	7.5%	8	3	4	3	18
計	239		48	3	129	86	266

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	1			3	4	46人 25.3%				1	1	15人 17.9%	5	61人 22.9%
20代	3		6	11	20				2	3	5		25	
30代	5		10	7	22				5	4	9		31	
40代	3		12	5	20	58人 31.9%	1		10	3	14	33人 39.3%	34	91人 34.2%
50代	10	2	19	7	38				15	4	19	39.3%	57	34.2%
60代	14	1	15	11	41	78人 42.9%	1		15	4	20	36人 42.9%	61	114人 42.9%
70以上	9		12	16	37		1		8	7	16	42.9%	53	42.9%
計	45	3	74	60	182		3	0	55	26	84		266	
比率	68.4%						31.6%							

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
9月18日	松本市三才山 山林内	74	男	道迷い	無事救出	キノコ採りで入山したが、道に迷い、行動不能となったもの
<p>18日、松本市三才山の登沢で、男性Aさん74歳が下山中に道に迷い行動不能となる山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。男性は、右手皮下出血等の怪我を負いましたが軽傷の模様です。</p>						
<p>三才山の現場の状況： 樹木の切れ目から視認できるが、条件（日没、ガス等）が悪ければ、発見は困難となる。</p>						
9月20日	北アルプス 五竜岳	70	女	転倒	負傷	下山中、バランスを崩し転倒し負傷
<p>20日、北アルプス五竜岳で、女性Aさん70歳が下山中に転倒して左手首骨折の重傷を負う山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。</p>						
<p>五竜岳の現場の状況： このような標高の高い稜線で行動不能となった場合、天候によっては救助を待つ間に体温を奪われ低体温症に陥る危険性がある。</p>						
9月20日	松本市三才山 山林内	62	男	道迷い	無事救出	キノコ採りで入山したが、道に迷い、行動不能となったもの
<p>20日、松本市三才山の山林で、キノコ採りの男性Aさん62歳が道に迷う遭難が発生し、松本署員が救助しました。</p>						
9月21日	松本市安曇 山林内	71	男	滑落	負傷	キノコ採り中に、滑落し負傷
<p>21日、松本市安曇の日向窪トンネル北側山林で、キノコ採りの男性Aさん71歳が滑落して頭部等を負傷する遭難が発生し、松本署員等で救助しました。</p>						
9月23日	北アルプス 横尾	75	女	転倒	負傷	下山中、スリップして転倒し負傷
<p>23日、北アルプス本谷橋付近で、女性Aさん75歳が転倒して右足首骨折の重傷を負う山岳遭難が発生し、県警救助隊が救助しました。</p>						

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

9月4週は、キノコ採り中の遭難が3件発生しました。昨年の秋山期間中は、キノコ採りの遭難が15件発生し、7名の方が亡くなっています。また、発生当初、単独入山したまま下山しない等の届け出を受け、行方不明として対応したケースは6件ありました。

キノコ採りは整備されていない山林や崖等の斜面に入ってしまうため、通常の登山よりもはるかに遭難のリスクが高いと言えます。キノコばかりに目を奪われ肝心な安全対策がおろそかになってしまわないよう、準備を整えて入山をしてください。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝